平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 アマノ株式会社　　上場取引所　東
コード番号 6436　URL http://www.amano.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 中島　泉
問合せ先責任者　(役職名) 取締役執行役員経営企画本部長　(氏名) 上野　亨　TEL 045-439-1591

四半期報告書提出予定日　平成26年2月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	70,508	9.2	4,835	11.1	5,304	12.5	3,024	20.2
25年3月期第3四半期	64,543	2.1	4,352	21.8	4,714	25.6	2,516	42.7

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　5,766百万円　(114.9%)　25年3月期第3四半期　2,683百万円　(301.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	39.48	―
25年3月期第3四半期	32.86	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	115,071	80,467	69.6	1,045.92
25年3月期	109,476	76,718	69.8	998.09

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　80,111百万円　25年3月期　76,449百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	13.00	―	13.00	26.00
26年3月期	―	13.00	―		
26年3月期(予想)				13.00	26.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,000	8.5	8,200	11.9	8,500	9.4	4,900	22.9	63.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 6「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
②①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	76,657,829 株	25年3月期	81,257,829 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	64,361 株	25年3月期	4,662,695 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	76,594,365 株	25年3月期3Q	76,595,662 株

(注)平成25年3月27日開催の取締役会決議により、平成25年4月8日付で自己株式の消却を行いました。これにより、株式数は4,600,000株減少し、発行済株式総数は76,657,829株となっております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は【添付資料】5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する説明 ……2
（２）財政状態に関する説明 ……4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……5
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……6
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……6
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……6
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……6
（４）追加情報 ……6
３．四半期連結財務諸表 ……7
（１）四半期連結貸借対照表 ……7
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……11
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……13
（継続企業の前提に関する注記） ……13
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……13
（セグメント情報等） ……13
（重要な後発事象） ……14

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国経済をはじめとする海外景気の回復が輸出を下支えする一方、公共投資が底堅く推移するとともに、設備投資も企業収益の改善を背景に緩やかに増加し、また雇用・所得環境が持ち直しの動きを見せる中、個人消費も堅調に推移するなど、景気は緩やかに回復基調にあるものと考えられます。

このような経営環境下にあって、当社グループは、新中期経営計画に基づくグローバルベースでの連結成長戦略のもと、市場・プロダクトのグローバル展開、総合提案ビジネスの拡大に取り組むとともに、徹底的な顧客ニーズの掘り起こしに注力し、原価低減、販管費抑制にも努めました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高は705億８百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益48億35百万円（同11.1%増）、経常利益53億４百万円（同12.5%増）、四半期純利益30億24百万円（同20.2%増）となり、増収増益となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

部門別販売の状況　（単位：百万円）

区　分	平成25年３月期 前第３四半期 連結累計期間		平成26年３月期 当第３四半期 連結累計期間		増　減	
	金　額	構成比	金　額	構成比	金　額	率
(時間情報システム事業)		%		%		%
情報システム	13,430	20.8	15,538	22.0	2,107	15.7
時間管理機器	2,895	4.5	2,917	4.1	21	0.7
パーキングシステム	30,158	46.7	33,753	47.9	3,594	11.9
小　計	46,485	72.0	52,208	74.0	5,723	12.3
(環境関連システム事業)						
環境システム	12,682	19.7	12,408	17.6	△274	△2.2
クリーンシステム	5,375	8.3	5,891	8.4	515	9.6
小　計	18,058	28.0	18,299	26.0	241	1.3
合　計	64,543	100.0	70,508	100.0	5,964	9.2

時間情報システム事業

・情報システム　＝「就業・給与・人事・入室・食堂システム」
・時間管理機器　＝「タイムレコーダー、タイムスタンプ」
・パーキングシステム　＝「駐車場・駐輪場管理システム、駐車場運営受託」

当事業の売上高は、522億８百万円で、前年同期比57億23百万円の増収（12.3%増）となりました。

事業部門別には、情報システムは、国内は景気回復を背景に企業の情報関連投資が顕在化し、情報ターミナル・ソフトウェアともに増収となりました。海外は、北米のアキュタイムシステムズ社、欧州の

ホロスマート社ともに堅調に推移し増収となり、全体では15.7%の増収となりました。

時間管理機器は、国内はネット・通販の売上が増加したものの、輸出減少により僅かに減収、海外は為替の影響もあり増収となり、全体では0.7%の増収となりました。

パーキングシステムは、国内は大規模駐車場システムの売上が増加し、また、運営受託サービスも順調に拡大し増収となりました。海外は、北米のアマノマクギャン社は円安が寄与し増収、欧州は好調を持続し増収、アジア地域は韓国が増収となり、全体では11.9%の増収となりました。

環境関連システム事業

・環境システム　＝「汎用集塵機、大型集塵装置、粉粒体空気輸送システム、高温有害ガス除去システム、脱臭システム、電解水生成装置」

・クリーンシステム　＝「清掃機器、ドライケア清掃システム、清掃マネジメントサービス」

当事業の売上高は、182億99百万円で、前年同期比２億41百万円の増収（1.3%増）となりました。

事業部門別には、環境システムは、国内は新製品投入効果により汎用機は増収、大型システムは第３四半期会計期間は前年同期間比で増収に転じたものの、同累計期間では減収となりました。海外は、アジア市場全体では為替の影響もあり増収、北米市場は大型システム案件が増加したことにより増収となりましたが、全体では2.2%の減収となりました。

クリーンシステムは、国内はトータルソリューション提案を強化したことにより、清掃機器および清掃受託サービスともに増収、海外は北米は円安が寄与し増収となり、全体では9.6%の増収となりました。

（参考情報）

【所在地別情報】

（単位：百万円）

	売上高				営業利益			
	第３四半期累計期間		増減	増減率（%）	第３四半期累計期間		増減	増減率（%）
	平成25年３月期	平成26年３月期			平成25年３月期	平成26年３月期		
日本	49,094	50,912	1,818	3.7	5,301	5,814	512	9.7
アジア	5,295	6,437	1,141	21.6	501	547	46	9.3
北米	7,688	9,348	1,659	21.6	462	140	△322	△69.6
欧州	3,990	5,118	1,127	28.3	103	377	273	263.9
計	66,069	71,816	5,747	8.7	6,369	6,880	511	8.0
消去又は全社	△1,525	△1,308	—	—	△2,016	△2,045	—	—
連結	64,543	70,508	5,964	9.2	4,352	4,835	482	11.1

（注）１．国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

２．本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1)アジア……シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、韓国、中国

(2)北米……アメリカ、カナダ

(3)欧州……フランス、ベルギー、スペイン

【海外売上高】

(単位：百万円)

	海外売上高				連結売上高に占める海外売上高の割合（%）		
	第３四半期累計期間		増減	増減率（%）	第３四半期累計期間		増減
	平成25年３月期	平成26年３月期			平成25年３月期	平成26年３月期	
アジア	5,474	6,446	972	17.8	8.5	9.1	0.6
北米	7,622	9,249	1,627	21.3	11.8	13.1	1.3
欧州	3,977	5,042	1,064	26.8	6.1	7.2	1.1
その他の地域	60	174	113	187.1	0.1	0.3	0.2
計	17,135	20,912	3,777	22.0	26.5	29.7	3.2
連結売上高	64,543	70,508					

（注）１．国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
２．本邦以外の区分に属する主な国又は地域
(1)アジア……シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、韓国、中国
(2)北米……アメリカ、カナダ
(3)欧州……フランス、ベルギー、スペイン
(4)その他の地域……中南米
３．海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、1,150億71百万円と前連結会計年度末に比べ55億95百万円増加いたしました。これは、主に、受取手形及び売掛金等が減少したものの、現金及び預金の増加等により流動資産が30億14百万円増加し、また、固定資産がソフトウェアの増加等により25億81百万円増加したことによるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は、346億４百万円と前連結会計年度末に比べ18億46百万円増加いたしました。これは、主に、支払手形及び買掛金や賞与引当金等が減少したものの、未払費用等のその他流動負債の増加等により流動負債が６億45百万円増加し、また、固定負債が長期借入金の増加等により12億円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は、804億67百万円と前連結会計年度末に比べ37億49百万円増加いたしました。これは、主に、配当金の支払等があったものの、四半期純利益の計上により株主資本が10億31百万円増加し、また、その他の包括利益累計額が為替換算調整勘定の増加等により26億30百万円増加したことによるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第３四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、292億44百万円と前連結会計年度末に比べ26億56百万円増加いたしました。当第３四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、71億91百万円となりました。これは主に、法人税等の支払額29億52百万円等が計上されたものの、税金等調整前四半期純利益52億86百万円、売上債権の減少30億78百万円、減価償却費26億85百万円等が計上されたことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、△43億円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入33億32百万円、有価証券の償還による収入10億円等が計上されたものの、定期預金の預入による支出32億75百万円、有形固定資産の取得による支出22億90百万円、無形固定資産の取得による支出18億73百万円、有価証券の取得による支出10億円等が計上されたことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、△７億28百万円となりました。これは主に、セール・アンド・リースバックによる収入16億73百万円、長期借入れによる収入９億72百万円等が計上されたものの、配当金の支払額19億91百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出11億22百万円等が計上されたことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、平成25年５月８日に公表いたしました平成26年３月期通期業績予想に変更ありません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合は、適時に開示してまいります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純損益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

(表示方法の変更)

従来、駐車場運営受託事業において駐車場機器設置の際に子会社に生じる支出と収入を、当該子会社を一時的に通過する資金の流れとしてとらえ、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」等に集約しておりましたが、駐車場運営受託事業の規模が拡大し、ビジネス形態も変化してきている中で、駐車場運営権の取得等の明確な投資活動が行われ、それに伴う財務活動も多様化してきていることから、第１四半期連結会計期間より機器取得等に係る支出を投資活動によるキャッシュ・フローの「有形固定資産の取得による支出」及び「無形固定資産の取得による支出」に、当該機器のリースバックに伴う収入を財務活動によるキャッシュ・フローの「セール・アンド・リースバックによる収入」にそれぞれ表示する方法に変更しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第３四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書の組替えを行っております。

この結果、前第３四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フロー計算書は、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他の流動負債の増減額（△は減少）」が10百万円、「その他」が877百万円それぞれ減少し、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「有形固定資産の取得による支出」が614百万円、「無形固定資産の取得による支出」が81百万円、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「セール・アンド・リースバックによる収入」が1,584百万円それぞれ増加しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,175	31,881
受取手形及び売掛金	24,920	22,738
有価証券	1,241	1,797
商品及び製品	2,984	3,499
仕掛品	931	2,134
原材料及び貯蔵品	2,781	3,372
繰延税金資産	1,235	1,138
その他	2,160	1,955
貸倒引当金	△177	△250
流動資産合計	65,253	68,267
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,559	10,999
機械装置及び運搬具（純額）	807	846
工具、器具及び備品（純額）	1,158	1,280
土地	7,167	7,181
リース資産（純額）	3,087	3,406
建設仮勘定	206	152
有形固定資産合計	22,985	23,868
無形固定資産		
のれん	4,679	4,852
ソフトウエア	1,363	2,442
ソフトウエア仮勘定	1,396	743
その他	1,042	1,861
無形固定資産合計	8,481	9,899
投資その他の資産		
投資有価証券	6,450	6,747
長期貸付金	13	12
破産更生債権等	401	395
差入保証金	1,153	1,146
繰延税金資産	1,740	1,599
長期預金	1,500	1,500
その他	1,978	2,118
貸倒引当金	△483	△484
投資その他の資産合計	12,755	13,035
固定資産合計	44,222	46,803
資産合計	109,476	115,071

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,633	4,651
電子記録債務	5,404	6,123
短期借入金	197	287
リース債務	1,162	1,398
未払法人税等	1,878	1,235
賞与引当金	1,780	890
その他	9,046	11,163
流動負債合計	25,104	25,750
固定負債		
長期借入金	1,244	2,067
長期未払金	201	195
リース債務	3,133	3,449
繰延税金負債	247	121
退職給付引当金	2,670	2,786
資産除去債務	17	29
その他	138	205
固定負債合計	7,653	8,853
負債合計	32,758	34,604
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,239	18,239
資本剰余金	19,567	19,293
利益剰余金	49,385	47,022
自己株式	△3,719	△51
株主資本合計	83,472	84,503
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	316	743
為替換算調整勘定	△7,340	△5,136
その他の包括利益累計額合計	△7,023	△4,392
少数株主持分	268	356
純資産合計	76,718	80,467
負債純資産合計	109,476	115,071

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	64,543	70,508
売上原価	36,027	39,811
売上総利益	28,515	30,696
販売費及び一般管理費		
販売費	21,764	23,490
一般管理費	2,399	2,370
販売費及び一般管理費合計	24,163	25,860
営業利益	4,352	4,835
営業外収益		
受取利息	51	56
受取配当金	56	63
受取保険金	83	48
為替差益	76	125
持分法による投資利益	18	27
その他	149	238
営業外収益合計	434	560
営業外費用		
支払利息	24	35
外国源泉税	13	9
その他	35	46
営業外費用合計	73	91
経常利益	4,714	5,304
特別利益		
固定資産売却益	6	14
補助金収入	7	－
その他	1	－
特別利益合計	15	14
特別損失		
固定資産除却損	24	31
固定資産売却損	1	0
投資有価証券評価損	6	－
固定資産圧縮損	6	－
特別退職金	137	0
その他	4	－
特別損失合計	180	32
税金等調整前四半期純利益	4,549	5,286
法人税等	1,974	2,184
少数株主損益調整前四半期純利益	2,574	3,101
少数株主利益	58	77
四半期純利益	2,516	3,024

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,574	3,101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	120	425
為替換算調整勘定	△16	2,216
持分法適用会社に対する持分相当額	5	23
その他の包括利益合計	108	2,664
四半期包括利益	2,683	5,766
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,621	5,654
少数株主に係る四半期包括利益	62	111

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,549	5,286
減価償却費	2,698	2,685
のれん償却額	415	491
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△291	91
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△36	20
受取利息及び受取配当金	△107	△119
持分法による投資損益（△は益）	△18	△27
支払利息	24	35
為替差損益（△は益）	△24	1
固定資産売却損益（△は益）	△4	△13
固定資産除却損	24	31
固定資産圧縮損	6	－
投資有価証券評価損益（△は益）	6	－
特別退職金	137	0
補助金収入	△7	－
売上債権の増減額（△は増加）	2,855	3,078
たな卸資産の増減額（△は増加）	△996	△1,939
仕入債務の増減額（△は減少）	△475	△494
その他の流動負債の増減額（△は減少）	1,211	1,498
その他	△1,266	△647
小計	8,700	9,978
利息及び配当金の受取額	169	190
利息の支払額	△28	△38
特別退職金の支払額	△169	△0
法人税等の支払額	△3,334	△2,952
法人税等の還付額	4	13
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,341	7,191
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,000	△1,000
有価証券の償還による収入	1,000	1,000
有形固定資産の取得による支出	△1,482	△2,290
有形固定資産の売却による収入	9	20
無形固定資産の取得による支出	△1,470	△1,873
投資有価証券の取得による支出	△325	△104
関係会社株式の売却による収入	－	36
子会社株式の取得による支出	－	△101
補助金の受取額	7	－
貸付けによる支出	△63	△7
貸付金の回収による収入	64	10
定期預金の預入による支出	△4,494	△3,275

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
定期預金の払戻による収入	4,122	3,332
その他	74	△48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,557	△4,300
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△168	△234
長期借入れによる収入	－	972
自己株式の取得による支出	△0	△1
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△876	△1,122
セール・アンド・リースバックによる収入	1,584	1,673
配当金の支払額	△1,991	△1,991
少数株主への配当金の支払額	△18	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,470	△728
現金及び現金同等物に係る換算差額	△33	494
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	279	2,656
現金及び現金同等物の期首残高	25,921	26,587
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,200	29,244

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成25年３月27日開催の取締役会決議に基づき、平成25年４月８日に自己株式4,600,000株を消却いたしました。この結果、自己株式が3,669百万円、資本剰余金が274百万円、利益剰余金が3,395百万円それぞれ減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第３四半期連結累計期間(自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	時間情報システム事業	環境関連システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	46,485	18,058	64,543	―	64,543
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	46,485	18,058	64,543	―	64,543
セグメント利益	4,859	1,586	6,445	△2,093	4,352

(注) １ セグメント利益の調整額△2,093百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	時間情報システム事業	環境関連システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	52,208	18,299	70,508	―	70,508
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	52,208	18,299	70,508	―	70,508
セグメント利益	5,663	1,262	6,925	△2,090	4,835

(注)１　セグメント利益の調整額△2,090百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。